

平成 25 年1月9日

各 位

東京都中央区日本橋二丁目 15 番3号
株 式 会 社 エ ス プ ー ル
代表取締役会長兼社長 浦 上 壮 平
(コード番号:2471)
問 い 合 せ 先 :
取締役管理本部担当 佐 藤 英 朗
電 話 番 号 03 (3517) 6633(代 表)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年1月 12 日に公表しました平成 24 年 11 月期（平成 23 年 12 月1日～平成 24 年 11 月 30 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 11 月期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 12 月1日～平成 24 年 11 月 30 日）

(単位:百万円/未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,200	90	80	62	24 円 25 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	4,941	48	29	△30	△11 円 92 銭
増 減 額 (B－A)	△258	△42	△50	△93	－
増 減 率 (%)	△5.0	△46.7	△63.2	－	－
(ご参考)前 期 実 績 (平成 23 年 11 月期)	5,532	32	17	207	80 円 31 銭

(注) 当社は、平成 24 年 12 月1日を効力発生日として、普通株式1株につき 100 株の割合で株式分割をしておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 業績予想修正の理由

先行き不透明な経済環境の下、当社グループでは、ビジネスソリューション事業と人材ソリューション事業の主力2事業に経営資源を集中し、人材派遣サービスの積極的拡大のための準備、アウトソーシングサービスの体制整備、そして新規サービスの展開を推し進めて参りました。その結果、ビジネスソリューション事業では、ロジスティクスアウトソーシングや障がい者雇用支援サービスにおいて、品質の向上やサービス内容の深耕が進むなどの一定の成果が見られ、概ね計画通りに推移しました。一方、キャンペーンアウトソーシングでは、大型案件の獲得がなかったことに加えて、注力分野であった対面型獲得業務の立ち上がりが遅れたため、計画を下回る結果となりました。また、人材ソリューション事業においては、地方拠点を中心にコールセンター向けの派遣が増加しましたが、携帯電話販売支援業務では、派遣抵触日による業務終了に係る売上減少を補うことができず、計画未達となりました。

以上のことから、売上高は期初の予想を 258 百万円下回り、4,941 百万円となる見込みです。

利益面については、品質向上等による売上総利益率改善により、売上未達の影響はありませんでした。しかしながら、人材ソリューション事業においては、派遣人材の需給逼迫が第4四半期以降急激に生じており、来期以降のさらなる事業拡大に向けた体制整備を前倒しで進めたことや、派遣スタッフ採用のための募集費を増加させたことにより、販売費及び一般管理費が計画を上回って発生しました。その結果、営業利益は 48 百万円、経常利益は 29 百万円と前期と比較して増益を確保したものの、いずれも期初計画を下回る見込みです。

また、平成 24 年 12 月 5 日付の開示のとおり、税務当局に指摘を受け追加納付を行った平成 20 年以降の当社グループ従業員の給与に係る源泉所得税徴収不足額 42 百万円を全額貸倒損失として特別損失に計上したため、当期純損失は 30 百万円になる見込みです。

以 上

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、現時点で得られた情報に基づいたものでありますが、実際の業績は、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
